

特集 ドクターヘリ -Fly Me to the Future-

救急医療は時間との闘い。

受傷や発症からいかに早く医療介入できるか。診断・根本治療を始められるか。わずかの差が生死や機能予後を左右する。

医師は病院で患者を待つ、これが従来の theory であった。

しかし、患者の救命率を上げるために、医師は病院前へと飛び出した。

21世紀の到来とともに医師は空飛ぶ専用機に乗り込んで、theory を飛び越え、それまで決して届かなかった命を救いだした。医師は患者のため、ドクターヘリとともに時間、診療科、組織、県境の壁を飛び越えはじめたのである。

そして2022年4月18日、香川県での運航開始をもって、全47都道府県56機のドクターヘリ配備が実現した（京都府は滋賀県との共同運用）。

今号は、一部の基地病院の紹介を通して、わが国のドクターヘリの歴史と現在地を確認するとともに、最新の関連テクノロジーや「空飛ぶクルマ」による医師派遣構想など近未来の話題も盛り込んだ特集号とした。

ドクターヘリの量的充実が少しずつ進むなか、質的な充実、人材育成・教育、効率的運用、コスト削減などまだまだ課題も多く、“超”魅力的な世界である。そしてシステムがどんなに充実しても、ドクターヘリに魂を込めるのは、医師、看護師、運航会社、自治体などかかわる“人の志”。それが、わが国の“世界トップクラスの病院前医師派遣システム”を確立させ、支えている。

混沌とした世界の救急医療の未来に、いざ挑まん！

特集企画ゲストエディター：日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 本村 友一



北総救命プロモーション動画
(YouTube)



xcjwg823@yahoo.co.jp



@bookvillage1977



本村友一



tomokazutomomura